

本日11月8日は「立冬」です。もう、そんな時期になったんだな～、と、時の速さを改めて感じます。時の速さを感じるといえば、この時期恒例の「流行語大賞ノミネート」が発表になりました。ラグビー関係の言葉が多かったのは納得できるのですが、知らない言葉も結構ありました。私が今でもよく使っている「じぇじぇじぇ」はなんと2013年、6年前の流行語大賞でした。「ポーッと生きてんじゃねえよ！」とチコちゃんに叱られそうです。まさに「光陰矢のごとし」。時の経つのは速いですね～！

新たな目標に向かって！

10/19（土）の「花丘祭」、25（金）の「秋に親しむ会」と恒例の学校行事を無事、終えることができました。さまざまな学校行事が目白押しの10月でしたが、どの行事も高中生の力が遺憾なく発揮され、充実した、感動ある、思い出に残る行事となりました。改めて生徒の頑張りを讃えたいと思っています。

ただ、大きな目標がなくなり、次の目標が定まるまでの少しの期間、ややもすると気が抜けたように、何に対しても身が入らないような精神状態になることも少なくありません。ぜひ、新たな目標設定と、具体的な取り組みについてご家庭でも話題にさせていただき、今後のさらなる向上を支援いただきたいと思います。学校もその方針で、充実した学校生活を送れるよう努めて参りますので、何か気になることがあるときは、いつでもご連絡ください。いずれにしましても、保護者の皆様のご協力に、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



三者面談が始まります！

今日から三者面談が始まります。お忙しい中ご来校くださり、ありがとうございます。

3年生においては目の前に迫った進路についての話が中心になるかと思います。保護者の皆さんの考えと本人の希望に食い違いがあったり、現在の実力と進路希望に差があったりと、悩むことが多いかと思います。学校としても「全員合格」は大きな目標ですが、その本来の意味は「本当に希望する進路への全員合格」です。そのためにこれからの生活をどのように送っていくのかを確かめる時間と考えています。

また、1、2年生においては現在の学校生活の状況と家庭での生活状況についての情報交換が中心の話題となるかと思います。昼間のほとんどの時間をお預かりしている学校での生活状況を、良いことも悪いこともきちんとお伝えすることは私達の義務であり、その中で担任からの「さらなる向上に向けた期待や思い」も伝えていけたらと考えます。ぜひ、ご家庭での様子、心配されていることについてもたくさんお話しくさるとありがたいです。

悩みはさまざまですが、向かうところは子どもたちのより良い進路実現を図ることのただひとつの目標です。有意義な相談となるよう、よろしくご協力のほどお願いいたします。



山都中との合同高校説明会！

去る10月31日（木）、山都中学校を会場として、山都中との合同高校説明会が実施されました。会津地区の10校の校長先生方をお招きして、それぞれの学校の特色や校風、進路の状況や入試選抜の方法などについてご説明いただきました。両校とも3年生だけでなく、いち早く進路の意識を持ってもらいたいことから、2年生も一緒に参加しました。「花丘学舎No.11」でお伝えしましたが、今年度から入試のシステムが変わります。これまでの「I期選抜」が「特色選抜」となり、学力検査も一般選抜と同様に課せられることは、大きな変化と言えますが、その高校への進学のことをしっかりと持って、受験に臨むことが大切であることには違いはありません。今回の各高校の説明をよく思いだして、家族の方と話し合い、進路選択にあたってほしいと思います。そして、なるべく早い段階で目標を定め、計画を立て、目標達成のために、地道に努力する日々を確立させてほしいと思います。それが、進路目標実現のための重要な道筋だと思います。高郷中生の進路目標の実現と、全員合格を祈っています。



期末テストに向けて！

少し早めの話題ではありますが、11月25日（月）26日（火）は、早くも2学期末の期末テストになります。来週始め11日（月）にはテスト範囲が発表となり、学習計画を立てることになります。今からその準備と心構えをしっかりと持って、臨んでほしいと思います。定期テストをやめた学校が話題になったりもしていますが、定期テストには成績をつける、評価をする以外にも大切なねらいがあると考えます。それは、①学んだことを集中して復習し学力をつける。②テスト後に理解が不十分な点をきちんと把握し学び直しをする。③目標に向かって努力する精神力を養う。ことなどです。そして、これらのことは、今後の学力向上にとっても重要な手がかりとなります。ぜひ、前向きに受け止め、努力する毎日を送ってほしいと思います。努力の結果は必ずついてきます。あと2週間、ご家庭でも励ましていただきたいと思います。



座右の銘！

3年生の国語の授業で学習した「論語」の一節が、『私の座右の銘（ざゆうのめい）』として教室廊下の壁に掲載してありました。その中の1人の作品を紹介します。

<座右の銘> 「子曰く、父母は唯その疾を之れ憂う。」

<意味> 「父母は、何よりも子どもの病気が心配なので、自分の身体を大事にすることが一番の親孝行である。」

<選んだ理由> 健康でいることは一番大事で、大変なことではあるが、それで親孝行ができるならば、それを楽と考えることができるから。健康になるための努力が親孝行になるので、一石二鳥だと思った。

心が温かくなりました。いつまでも「座右の銘」にして大切にしてほしいです。



季節の変わり目。寒暖差の激しい毎日。朝晩の冷え込みは一層厳しくなっています。生徒の皆さん、保護者の皆さん、風邪を召しませんように！